

「2018 東北インバウンド意向調査（アジア 8 地域・欧米豪 4 地域）」を発行 ～東北を知っている外国人のうち、東北へ行きたい人は 3 割 「知っている×行きたい」を増やすことが、インバウンド増加への一歩に～

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）は、このたび「2018 東北インバウンド意向調査（アジア 8 地域・欧米豪 4 地域）」と題した調査レポートを発行しました。

DBJ は、平成 24 年より継続して、アジア 8 地域（韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア）の海外旅行経験者を対象としたインターネットによるアンケート調査を実施しており、平成 27 年からは公益財団法人日本交通公社（会長：末永安生、以下「JTBF」という。）と共同で調査を実施しております。本年は、アジア 8 地域にアメリカ、オーストラリア、イギリス、フランスの 4 地域を加えた 12 地域を対象に、7 回目となる調査を JTBF と共同で実施しました。

当レポートは、その中で特に東北地域に関する項目を取り上げており、東北訪問経験者や東日本大震災の影響等についての回答結果をまとめたものです。その上で、調査結果に基づき、今後拡大するインバウンド需要を踏まえた東北観光振興のための提言を掲載しています。

今回の調査結果の特徴としては、主に以下の 5 点が挙げられます。

- (1) 東北を知っている人（アジア 8 地域）のうち東北訪問を希望する人は 3 割。
- (2) 同地域における東北訪問経験者の東北再訪希望率は、前回調査より約 5 ポイントの上昇したものの、他地域との比較では依然として低位。
- (3) 東北訪問経験者の訪日に当たる満足項目として「伝統工芸品」に関する項目が他地域と比して高い傾向に。一方、交通アクセスの項目や決済方法に関する満足度は低い傾向。
- (4) 東北訪問経験者は、日本旅行の際に日本到着後に旅行プランを決める割合が高い。日本到着後にプランを決めた人のうち、「観光地」を決めた割合は 47%、「宿泊場所」を決めた割合は 32.5%に上る。
- (5) 震災に関しては「地震による被害の復旧状況が分からない」という声に着実に減少。一方で、「地震が起こるかどうかが心配」という回答は、二年ぶりに増加。

当レポートの詳細は、DBJ ウェブサイト「拠点レポート(東北)」(<http://www.dbj.jp/investigate/area/tohoku/>)に掲載していますので、ご参照ください。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、地域に役立つ情報発信を積極的に行ってまいります。

【お問い合わせ先】

東北支店 企画調査課 電話番号 022-227-8182